

『大学入試 レベル別英語長文問題ソリューション3 トップレベル』（2020年9月7日 第1刷）
本書に以下のような誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

62 ページ

解答

誤：4.d 誤：5.d

正：4.b 正：5.b

64 ページ

（4の選択肢）

誤：b.自由回答式質問

正：b.未解決の問題

誤：d.難解な問題

正：d.やりがいのある問題

（4の解説、3行目の後半）

誤：フェルマーの最終定理は、証明できないこと具体例として提示
されているので、d. a challenging issue 「難解な問題」が正解。

正：フェルマーの最終定理は、以前は証明できないことすら証明でき
ないこと具体例として提示されているので、b. an open question
「未解決の問題」が正解。

（5の選択肢）

誤：a.証明できないから証明できなかった。

正：a.証明できないから証明されなかった。

誤：d.ある命題が証明されたかどうかは、その証明の可否を証明できる
かどうかと類似している。

正：d.ある命題が証明されたかどうかは、それが証明可能かどうかと
類似している。

（5の解説）

誤：第4段落最終文「1994年より以前は、フェルマーの最終定理を証明で
きないことを証明できるかどうかは、難解な問題であった」から、ある
ことを証明できなければ、その証明ができないことも証明できないとな
るので、dと一致。

正：第4段落最終文「1994年より以前は、フェルマーの最終定理を証明で
きないことを証明できるかどうかは、未解決の問題であった」から、
証明することも、その定理が証明できないことの証明すら難しいもの
だったのでbと一致。aは、当時は証明できないことすら証明できて
いないので不適。cは、無知からの主張を許容しないのは数学に限った
話ではないので不適。dは、フェルマーの最終定理は1994年以前には
証明されていなかったが、その証明が不可能だとも証明できない例と
してあげられているので、不適。

68 ページ
(下から2行目)

誤：it was a challenging issue

S V C

正：it was an open question

S V C

69 ページ
(上から9行以降)

誤：数学におけるフェルマーの最終定理は、この要点をよく説明できる。その定理は、2より大きいいかなる力も、2つの似たような力に分けることは不可能だ (a、b、c のような3つの整数は、2より大きいいかなる整数に対しても、 $a^n + b^n = c$ という方程式を満たさない) と 1637 年に書かれたもので、1994 年まで真実とは証明されなかった。1994 年に、アンドリュー・ワイルズとリチャード・テイラーは、他の数学者が開発した方法に基づいて、その証明を解明した。1994 年より以前は、フェルマーの最終定理を証明できないことを証明できるかどうかは、難解な問題であった。

正：数学におけるフェルマーの最終定理は、この要点をよく説明できる。その定理は、2乗より大きいいかなる累乗数も、2つの累乗数の和に分けることは不可能だ (2より大きいいかなる整数 n に対して、 $a^n + b^n = c$ という方程式を満たす3つの整数 a 、 b 、 c は存在しない) と 1637 年に書かれたもので、1994 年まで真実とは証明されなかった。1994 年に、アンドリュー・ワイルズとリチャード・テイラーは、他の数学者が開発した方法に基づいて、その証明を解明した。1994 年より以前は、フェルマーの最終定理を証明できないことを証明できるかどうかは、未解決の問題であった。

71 ページ
(上から2行め)

誤：Prior to 1994, it was a challenging issue

正：Prior to 1994, it was an open question

第2刷より内容を訂正いたしますとともに、読者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

64 ページと 69 ページについては、誤りを訂正した PDF をダウンロードしていただき、ご利用いただけますようお願い申し上げます。

4.

空所Bに入れるのに最適なのは次のうちどれか。

- a. 適切な命題
- b. 未解決の問題
- c. 開示された問題
- d. やりがいのある問題

空所Bを含む文は、形式主語のitがwhether以下を指しており、「1994年より以前は、フェルマーの最終定理を証明できないことを証明できるかどうかは、(B)であった」となる。フェルマーの最終定理は、以前は証明できないことすら証明できないこと具体例として提示されているので、b. an open question「未解決の問題」が正解。

.....

5.

1994年以前に、フェルマーの最終定理について、私たちは何を言えるか。

- a. 証明できないから証明されなかった。
- b. わかっているのは、証明するのが非常に難しいということだけだった。
- c. 数学は、無知からの主張を許容しない。
- d. ある命題が証明されたかどうかは、それが証明可能かどうかと類似している。

第4段落最終文「1994年より以前は、フェルマーの最終定理を証明できないことを証明できるかどうかは、未解決の問題であった」から、証明することも、その定理が証明できないことの証明すら難しいものだったので、bと一致。aは、当時は証明できないことすら証明できていないので不適。cは、無知からの主張を許容しないのは数学に限った話ではないので不適。dはフェルマーの最終定理は1994年以前には証明されていなかったが、その証明が不可能だとも証明できない例としてあげられているので、不適。

本文訳

次の対話を考えなさい。

エリオット：あなたはどうやって幽霊が存在しないことを知っているの？

ゼルダ：ええと、誰も幽霊が実際に存在すると証明した者はいませんよね？

ここで、エリオットはゼルダに幽霊が存在しないという命題への解答を正当化するように頼む。ゼルダは、幽霊が実際には存在しないことを証明する負担を、エリオットに移すことで解答する。この返答は、知らないことから主張する誤謬（無知に訴える論証）を犯していると言われる。ちょうどある命題が決して真実とは証明されないからといって、それはそれが間違いであることは意味しない。無知の状態から主張することはできない。

数学におけるフェルマーの最終定理^{ていり}は、この要点をよく説明できる。その定理は、2乗より大きいいかなる累乗数も、2つの累乗数の和に分けることは不可能だ（2より大きいいかなる整数 n に対して、 $a^n+b^n=c^n$ という方程式を満たす3つの整数 a 、 b 、 c は存在しない）と1637年に書かれたもので、1994年まで真実とは証明されなかった。1994年に、アンドリュー・ワイルズとリチャード・テイラーは、他の数学者が開発した方法に基づいて、その証明を解明した。1994年より以前は、フェルマーの最終定理を証明できないことを証明できるかどうかは、未解決の問題であった。

語彙リスト

<input type="checkbox"/> ghost	名 幽霊	<input type="checkbox"/> separate A into B	動 AをBに分ける
<input type="checkbox"/> justification	名 正当化	<input type="checkbox"/> integer	名 整数
<input type="checkbox"/> burden	名 負担	<input type="checkbox"/> equation	名 方程式
<input type="checkbox"/> proof	名 証明	<input type="checkbox"/> work out	熟 解明する
<input type="checkbox"/> illustration	名 説明	<input type="checkbox"/> prior to	熟 ~以前に
<input type="checkbox"/> theorem	名 定理		

▶ 単語10回CHECK 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

1
社会論

2
社会論

3
医学

4
哲学

5
論理学

6
歴史

7
テクノロジー

8
心理学

9
健康

10
哲学